

学校だより

東京都立北特別支援学校

令和7年12月25日発行

2学期末号

校長 村上 卓郎

気の早い話ですが、「次期学習指導要領に向けた基本的な考え方（文部科学省）」を今の授業に当てはめ、「深い学び」を考えてみたいと思います。この基本的な考え方は、現時点では以下3点示されています。詳細は ➤ [資料1 教育課程企画特別部会 論点整理（素案）](#) p.4 スライドNo.3) を御覧ください。

①「主体的・対話的で深い学び」の実装

現行学習指導要領が目指している、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通じた資質・能力の育成について、一層の具現化・深化を図る など

②多様性の包摂

一人一人の意欲が高まり、可能性が開花し、個性が輝く教育の実現を目指すものであり、第一の方向性と両立させることが不可欠な第二の方向性である など

③実現可能性の確保

第一・第二の方向性の両立を支え、実現可能とする観点であり、教育課程以外の勤務環境整備とも相まって審議全体に通底させるべき第三の方向性である など

本号では、私案となります、本校小学部で実施した国画工作科「うつしてひろがる虫の世界」の授業を通して述べてみます。

① まず、授業の様子を紹介します。

【導入】

- ・はじまりの歌「どんな色が好き」では、使用する色（赤・青・黄・緑）を大型モニター全面に提示します。赤なら赤一色です。そのインパクトを感じつつ自分の表したいことへつなげます。
- ・続く「手指の体操」では、【展開】で活動するタッピングや筆、手指の動き、二つ折りの紙を開じる・開くなど予習になる取組をします。

【展開】

- ・いよいよ本活動です。大型モニターで「作り方動画」をよく見て、自分もやってみようと気持ちが高まります。色（赤・青・黄・緑）を選び、表したいちょうどよを筆やたんぽ、手の動きを生かして型紙半面に描いていきます。
- ・二つ折りにしてもう片面がスタンプされます。広げるとちょうどよが現れます。大人の手渡しリレーで全員の個性豊かなちょうどよが目の前に飛んできました。



② ここで現行の学習指導要領、この授業の根拠（対応箇所）をお示しします。

～「特別支援学校学習指導要領 国画工作科 1段階 目標」～

ア 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。

イ 表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。など

③ 試みで「次期学習指導要領に向けた基本的な考え方」の「深い学び」で捉えてみます。

色の選択では、一人一人の思いや考えが基になっていると思います。ここで、誰かの思い付きや考えで、例えば、「赤いちょうどよは逃げているちょうどよ」「黄色のちょうどよは花を楽しんでいる」など、色に感情を重ねたり、同じ色の濃淡で感情の程度を表したりするなど、表現の楽しさが広がるかもしれません。

「色を選ぶ」という一つの知識・技能に、感情を表現するという知識・技能が組み合わさることによりさらに豊かな表現へつながる、このようなことを見据えることが、一層の具現化・深化につながるのでしょうか。

【参考図書】肢体不自由教育実践授業力向上シリーズ No.13「肢体不自由のある児童生徒のための授業」を究める2
ジニアス教育新社 監修:菅野和彦 文部科学省初等中等教育局視学官(併)特別支援教育課特別支援教育調査官

明日から冬休みとなります。本格的に寒くなり、感染症の流行も一層気になる時期です。体調に気を付けてお過ごしください。これまで2学期の学校の取組に御理解、御協力いただき、ありがとうございました。

学校だより別紙

高等部3年文化祭報告

文責：大森 大資

高等部3年生は、生徒がテーマを考え、「時空（とき）を駆ける高校生」を題材として12年間の学校生活を振り返る発表をしました。小学部では、朝の会や、当時の文化祭で披露したアイドルコンテストの様子を紹介し、中学部では、優勝したNorth Cupを、そして高等部では移動教室や修学旅行の様子を生徒一人一人が課題を達成しながら発表しました。発表では、たくさんの思い出の写真も一緒に上映し、保護者の皆様からは「懐かしさに思わず涙ぐんだ」「とても楽しかった」と感想をいただきました。たくさんの御声援ありがとうございました。

中学部3年文化祭報告

文責：斎藤 史香・黒川 淳

中学部3年生は、「パリピーズアドベンチャー」と題して、パリピーズ（中学部3年生）が冒険に向かうところから始まる物語を創り上げました。それぞれの場所にいるパリピーズの仲間に届いたものは、冒険への道が描かれた宝の地図。パリピーズの仲間たちは地図を頼りに冒険へと向かいいますが、そこには数々の困難が待ち受けていました。宝を探しに向かう中で、生徒の得意なことを活かして活躍し、見事宝物を手にすることができます。毎日コツコツ練習したセリフ、繰り返し練習したスイッチなどの動画撮影、そして本番では練習の成果を発揮することができました。事後学習の振り返りでは、みんなの自信に満ちた笑顔が頬もしく感じられました。大きな御声援と拍手をありがとうございました。

小学部6年文化祭報告

文責：大和田 耕平・江黒

小学部6年生は、「よんひきのこぶた」と題したオリジナル台本で舞台発表を行いました。小学部最後の舞台発表ということで、自分の担当するセリフや課題をしっかりと演じ切り、これまで積み上げてきた学習の成果を存分に発揮することができました。最終的には原作とは全く違う展開（寂しがり屋のオオカミと仲良くなつて一緒にダンス）となる、心優しく愉快な6年生らしさ全開の素敵な舞台発表となりました。御家族の皆様にも得点ボタンやメダル授与の演出に御協力いただき、大変感謝しております。また、発表当日、御参観いただいた多くの皆様からのたくさんの温かい御声援、ありがとうございました。

小学部3年文化祭報告

文責：尾崎 有子

「にじいろのさかな」の劇発表をしました。2学期始めに、文化祭のスケジュールを確認し、絵本の読み聞かせを繰り返しながら、見通しをもってのぞみました。子供たちは、これまでの学校生活を通して、舞台発表へのあこがれをもっていたようで、舞台で劇をすることをとても楽しみにしていました。練習を繰り返すごとに、緊張がほぐれ、伸び伸びと表現できるようになりました。当日は、多くの観客の皆さんを前に、堂々と練習の成果を発揮することができました。温かい御声援と拍手をありがとうございました。